

NHK海外たすけあい 赤十字チャリティイベント
赤十字親善大使のグランパスくん登場!

CONTENTS

クローズアップ

愛知県支部×春日井市
「地域のための防災・減災訓練」を実施

トピックス

日本赤十字社愛知県支部 支部長より新年のごあいさつ

「とよはしインターナショナルフェスティバル2016」に赤十字ブースを出展
「NHK海外たすけあい」へのご協力ありがとうございました

組織強化支援事業 愛知県支部職員がモンゴル赤十字をアセスメント視察

クロスサポーターに聞く!

春日井市赤十字奉仕団委員長 梶田美登里さん
春日井市 健康福祉部 地域福祉課の皆さん

謹んで新春のお慶びを申し上げます

平素から赤十字事業の推進に格別のご理解とご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、熊本地震や台風10号など全国各地で多くの自然災害が発生しました。被災地の皆様におかれましては一刻も早い復興が進むことを願ってやみません。

愛知県支部では、近い将来発生が危惧される東海、東南海、南海地震に備え、資機材の整備や赤十字ボランティアに対して救急法などの技能を浸透させるなど、大規模災害への対応能力と地域の防災力を高めていくことに務めております。

今後とも赤十字事業が円滑に行うことができるよう県民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社
愛知県支部 支部長

神田 直樹

とよはしインターナショナルフェスティバル 2016 に赤十字ブースを出展

愛知県支部の多文化共生事業の一環として、11月20(日)に豊橋市で開催された「とよはしインターナショナルフェスティバル2016」に赤十字ブースを出展しました。

赤十字ブースでは、大人気の「子ども救護服試着体験」コーナーや、赤十字の「大型救急車」、「通信指令車」を展示。会場には、赤十字のマスコットキャラクター「ハートラちゃん」や、愛知県支部とパートナーシップ協定を締結しているプロバスケットボールチームの三遠ネオフェニックス「ダンカー」も登場し、たくさん子どもたちに喜んでもらいました。

この日は心肺蘇生やAEDの使い方を学ぶことができる講習も実施。

赤十字の救急員資格を取得したインドネシア出身の小川ニアさんやブラジル出身の杉尾美恵子さんにも来ていただき、ボランティア指導員の指導内容を、外国人参加者に対して、身振り手振りを交えながら通訳するなど、多くの外国人住民の方に赤十字の活動を知ってもらうことが出来ました。今後も愛知県支部では、関係機関と連携して多文化共生事業を発展させ、外国人住民の方が赤十字事業への参画を通じて地域における支援者として活躍できるよう、活動の場の提供やボランティア養成に取り組んでいきます。



ハートラちゃんと記念撮影をする外国人住民の皆さん



通訳しながら心肺蘇生を実践する小川ニアさん

クロスサポーターに
聞く!
No.20
春日井市赤十字奉仕団委員長 梶田美登里さん
春日井市 健康福祉部 地域福祉課の皆さん

日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業や団体、人(クロスサポーター)を紹介します。今回のクロスサポは、春日井市赤十字奉仕団委員長 梶田美登里さんと春日井市健康福祉部地域福祉課の皆さんです。

愛知県支部は、今年11月、春日井市との共催で「地域のための防災・減災訓練」を実施しました。春日井市地区は、これまでも防災・減災事業に主眼を置き、春日井市赤十字奉仕団とともに様々な防災減災活動に取り組んでいます。

春日井市における赤十字を通じたこれまでの取り組みについて

春日井市では、市民の方から協力いただいた赤十字への活動資金をもとに、救援物資の配備、防災倉庫の設置等を行ってきました。春日井市が毎年開催する総合防災訓練では、赤十字奉仕団が、訓練に参加する市民に炊飯袋(ハイゼックス)を用いた炊飯の指導を実施しています。

春日井市赤十字奉仕団の梶田委員長は「私が春日井市奉仕団に入団した15年ほど前は、奉仕団活動は年に2回程度の活動で、当時は団員ですら赤十字の活動をあまり知らない状況でした。7年前に私が委員長となつてからは、「自立した赤十字の普及活動」を意識して、地元の青少年赤十字加盟校や福祉施設で、募金活動や繕いもの奉仕などを積極的に展開するようになりました。また東日本大震災をきっかけに、町内会での炊き出し指導など、赤十字を通じた防災減災活動にも力を入れています。」と語られていました。



梶田委員長(中央右)と春日井市地域福祉課の皆さん

赤十字と共催で実施した「地域のための防災・減災訓練」を振り返って

赤十字と共催で実施した訓練を振り返って、春日井市の平尾課長補佐は、「今回、多くの地域住民の方に参加していただき、本番さながらの医療チームによる訓練や、普段見ることのできない医療仮設テントや救援物資を見ていただくことが出来ました。日赤の活動への理解が深まったとともに、市民の皆さまから協力いただく赤十字への活動資金がどのように使われるのかを今回の訓練を通じてお伝えできたのではないでしょう。」と話していただきました。

また、梶田委員長も「防災・減災という目標に向かって、春日井市の関係機関と赤十字職員、そして奉仕団が一致団結して取り組んだ今回のイベントに、団員たちの士気がとても上がっていたのが印象的でした。また私たちが作った豚汁を、地域住民の方や訓練参加者に食べてもらい、とても美味しかったという感想をたくさんいただき、団員たちがとても喜んでいたり、今回の訓練を通じて、近隣の小牧や豊山の赤十字奉仕団とも連携する機会となったことがとても良かったです。」と振り返られていました。

インタビューを進めていくなかで、今回の訓練における改善点もお二人のお話から見つけていくこともできました。愛知県支部では今回の訓練の反省点をしっかりと見直し、今後も県内各地における地域の防災・減災における自助力・共助力を高めていくため、関係機関と連携を図りながら、より多くの地域住民の方が参加できる防災・減災活動を実施していきます。

NHK海外たすけあいへのご協力ありがとうございました

日本赤十字社は、海外で発生した紛争や災害による被災者の支援及び開発途上国への長期的な支援を行うため、今年もNHKと共同で「海外たすけあい」キャンペーンを12月1日～25日の期間で実施しました。

愛知県支部でも、県内各地で赤十字奉仕団による街頭募金や赤十字チャリティイベントを開催。12月3日(土)に実施した、名古屋駅前の街頭募金では、今年から青年赤十字奉仕団の大学生ボランティアも参加し、海外たすけあいへの協力を呼びかけました。

12月10日(土)にはイオンモールナゴヤドーム前イオンで、毎年恒例となりました赤十字チャリティイベントを開催。NHK名古屋放送局の永井伸一アナウンサーによる司会のもと、クラシック音楽届け隊の演奏や、赤十字親善大使を務める名古屋グランパス公式マスコットのグランパスくんの○×クイズ大会、中日ドラゴンズの亀澤恭平選手のトークショーなどで、イベントは大いに盛り上がりしました。

キャンペーン期間中は、多くの皆さまからご協力を頂きありがとうございました。お寄せ頂きました寄付は、すべて援助を必要とする世界中の人々の支援に活用されます。

組織強化支援事業 愛知県支部職員が、モンゴル赤十字をアセスメント視察

モンゴル赤十字社は、寒波や洪水といった自然災害が頻発し、広大な国土のなかで、地域のニーズにあった支援をいち早く届けることができるよう、組織力の強化を進めています。日本赤十字社では、各国の人々が求める人道的使命を達成できるよう、その国の赤十字社の組織強化支援事業を推進しています。

今年9月には、日本赤十字社による支援の状況を確認するとともに、今後の支援のあり方について協議するため、愛知県支部職員がモンゴルを訪問しました。現地では、医療器具や医薬品が不足しており、地域住民のニーズに赤十字が十分にこたえられていない現実を目の当たりにしました。その一方で、モンゴル赤十字社職員との協議の中では、海外からの支援をもとに、より効率的な事業マネジメントを目指し、いずれはモンゴル中の人道事業を担っていくという熱意を感じる事が出来ました。

今後も日本赤十字社は、国際赤十字の一員として自社の組織強化のみならず、各国赤十字社の組織強化と支援事業の運営をサポートしていきます。



名古屋駅前の街頭募金に参加した大学生ボランティアのメンバー



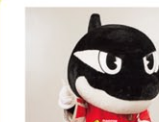
名古屋グランパスから義援金と活動資金の贈呈



現地の赤十字職員と協議する愛知県支部近藤佑介係長(左)

クロスサポ!
特別編 No.7

■名古屋グランパス

グランパスくん Jr.
●誕生日 8月8日
●将来の夢 プロサッカー選手になること

赤十字のイメージは?

オレの父さんが「赤十字親善大使」をやって話の色々聞いているんだけど、オレは活動のお手伝いした事はないんだ。機会があれば父さんの代わりにオレが赤十字のイベントに参加したいなー、と思ってるから呼んでくれよ!

今年の抱負は?

1年でJ1に昇格できるように、選手はもちろん、オレもがんばるよ! ひとりでも多くのお客様に笑顔になってもらえるよう楽しめながら、スタジアムに来てくれよな!

■名古屋オーシャンズ



平田ト アントニオ マサノ 選手 ●背番号:13 ●ポジション:PIVO ●出身地:愛知県(ブラジル国籍)

赤十字のイメージは?

赤十字のAED講習を受講したり、献血にも協力しました!

今年の抱負は?

1試合でも多く試合に出て、活躍したいです! また赤十字を通じて、病院の慰問活動なども積極的にやりたいです!

■三遠ネオフェニックス



並里 祐 選手 ●背番号47 ●ポジション:PG ●出身地:沖縄県

赤十字のイメージは?

赤十字といえば献血や寄付のイメージです。その他にも災害、病気などの支援をしているイメージもあります。これまで、クラブのイベントでAED講習に参加した経験があります。

今年の抱負は?

Bリーグでチーム力を生かして、優勝を目指します! また、機会があれば、災害支援やボランティアなどの社会貢献活動にも積極的に参加していきたいです。

INFORMATION
インフォメーション

●はたちの献血キャンペーン!
(1月1日から2月28日まで)

献血にご協力いただける方が減少するこの時期に、安全な血液を安定的に確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心とした、多くの方々へ献血のご協力を呼びかけます。ぜひこの期間に、いのちを救う献血へのご協力をお願いいたします。

●名古屋第二赤十字病院からのお知らせ

名古屋第二赤十字病院にて、下記のとおりハスロ口モ健康教室を開催いたします。今回のテーマは「高齢者の腰痛」です。当院医師・理学療法士・看護師が、腰痛について分かりやすくお話しいたします。詳細は、病院のHPをご覧ください。入場無料、ご自由に参加いただけます。皆さま、ぜひご参加ください。

第8回ハスロ口モ健康教室
テーマ:高齢者の腰痛
日程:平成29年1月21日(土) 時間:9:30~11:00(9時開場)
場所:名古屋第二赤十字病院 研修ホール

●インターンシップ(総合職)のご案内

日本赤十字社愛知県支部では4年制大学または大学院の学生を対象に2daysインターンシップを開催します。

日程:平成29年2月23日(木)~2月24日(金)
場所:日本赤十字社愛知県支部事務局他、愛知県内の赤十字病院・血液センター
申し込みは「マイナビ2018」からエントリーを!

ボランティアリレー!

このコーナーでは、ボランティアとして活躍する奉仕団をリレー方式で紹介していきます。

名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団

●活動紹介

私たち、名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団は学外活動において防災・減災活動を中心に様々な活動を行っています。防災・減災活動の視野を広げるために、実際に宮城県石巻市を訪問したり、「あいち赤十字フェスタ」で東北・熊本物産展を実施するなど復興支援活動も行いました。その他にも募金活動をはじめ、救護所ボランティアなどの活動も積極的に行っています。

●私たちのイチオシポイント!

愛知の学生奉仕団の中で、唯一ノルディックウォーキングを活動に取り入れています。災害時、高齢者の方が自分で避難することができるように「ストレッチング」「ボールを使っての歩き方」を通して「災害時逃げることのできる体づくり」を行っており、地域の方々とノルディックウォーキングで街歩きをすることもあります。またハイゼックスを使って、おかずやおやつづくりにも取り組んでおり、ハイゼックスで作る豆乳・パスタは地域の方々にとても好評でした。

次回は南山大学青年赤十字奉仕団へバトンタッチ!

次は「南山大学青年赤十字奉仕団」さんです。堀川清掃活動をはじめ、地域貢献活動を継続的にこなしています。同じ青年赤十字奉仕団としてよろしくお祈いします。

名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団 藤掛志保副委員長 吉田有梨沙委員長
南山大学青年赤十字奉仕団 鈴木園美委員長

ご協力感謝申し上げます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

●株式会社パロマ様 ●藤吉工業株式会社様 ●株式会社山忠様
●日本パッキング株式会社様 ●株式会社F&Cホールディングス様

赤十字事業は、社員(会員)のみならずからの年間500円以上の「社費(会費)」と、一般の方から寄せられる「寄付金」によって支えられています。赤十字の活動資金にご協力ください。

郵便振替口座 00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。
ご不明な点は日本赤十字社愛知県支部事務局 企画振興部赤十字社員課まで、お問合わせ 052-971-1596(直通)

日赤あいち

発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/平成29年1月1日
〒461-8561 名古屋市中区白壁1-50 TEL052-971-1591(代表)

ホームページで 日赤愛知 検索
www.aichi.jrc.or.jp

春日井市総合体育館

名古屋第一・第二赤十字病院の医師、看護師など
県内の赤十字職員約40名が研修生として参加

災害救護訓練エリア

訓練では、まず春日井市総合体育館を災害現場近くの災害拠点病院と想定し、県内の各赤十字施設から医師や看護師らを含めた救護班が次々と集結。その後は、災害拠点病院において、春日井市民病院のDMATチームと連携しながら、次々と搬送される患者に対する医療救護の実働訓練を実施しました。

春日井市民病院のDMATチームと連携した実働訓練の様子

次々と搬送される患者に対応する救護員たち

春日井市赤十字奉仕団による

炊き出し体験エリア

ここでは、春日井市赤十字奉仕団の皆さんの協力で、地域住民の方に「ハイゼックス」という袋を使っての炊飯方法を体験してもらいました。

炊き出し体験の様子

実働訓練視察後に、春日井市赤十字奉仕団に声掛けされる伊藤春日井市長

春日井市、小牧市、豊山町赤十字奉仕団による

赤十字講習体験エリア

地域住民の方にご参加いただき、赤十字の災害救護活動の紹介や、避難所生活で役立つ知識や技術を身につけてもらうための健康生活支援講習などを体験してもらいました。

避難所でも役立つ「ホットタオル」の作り方などを学べる健康生活支援講習や救急法、幼児安全法の講習が行われました。

愛知県支部×春日井市

地域のための防災・減災訓練

春日井市、小牧市、豊山町赤十字奉仕団による
～地域防災・減災訓練～

花木災害医療コーディネーター(名古屋第一赤十字病院医師)から赤十字の災害救護活動について紹介

見学

救護資機材等展示エリア

ここでは、当日ご参加いただいた地域住民の方に、赤十字の救護訓練の様子を見学していただいたり、実際の緊急仮設診療所として使用するエアテントをはじめ、災害時に使用する救護資機材を見学いただきました。

支部職員の説明のもと、緊急仮設診療所として使用するエアテントを見学してもらいました。

平成28年熊本地震災害における赤十字の活動紹介も展示しました。

クローズアップ

愛知県支部×春日井市

地域のための防災・減災訓練

日本赤十字社愛知県支部では、災害時に迅速に活動ができるように日頃より訓練・研修を実施しています。今年度も、災害発生時に救護にあたる災害救護班の研修の環として、11月8日(火)・10日(木)の3日間をかけて開催しました。

さらに今年は春日井市との共催で、研修2日目を春日井市総合体育館で実施し、春日井市民病院の医療チームとの連携を図るなどの訓練を実施。また赤十字の講習や炊き出し体験など、地域の自助・共助を支援するための市民参加型のイベントを併せて実施しました。